

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 2 年 2 月 10 日（月）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 28 分
- III 出席委員等
- | | | | |
|---------|----------------|--------|-------|
| 〔出席委員〕 | ◎山口 泰祐 | ○薮中 一夫 | 角田 悠紀 |
| | 石須 大雄 | 吉田健太郎 | 坂林 永喜 |
| | 大井 正樹 | 金森 一郎 | 高畠 義一 |
| | (◎…委員長 ○…副委員長) | | |
| 〔議長〕 | 金森 一郎（委員として出席） | | |
| 〔副議長〕 | 中川加津代 | | |
| 〔説明員〕 | 別紙名簿のとおり | | |
| 〔委員外議員〕 | 林 貴文 | 本田 利麻 | 高岡 宏和 |
| | 酒井 善広 | | |
| 〔事務局職員〕 | 安東 浩志 | 松本 武司 | 室川 弘昭 |
| | 六土 幸拓 | | |
| 〔傍聴者〕 | なし | | |

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- I C パーク高岡の分譲について
- 令和元年産米品質概況及び令和 2 年産米の生産目標（数量・面積）について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【米の生産数量の調整について】

- 平成 30 年産以降は、国による生産数量目標の配分が廃止され、県段階及び地域段階で米の生産目標を提示し、自主的に生産調整に取り組むこととなっているが、このことによって、生産数量に緩みが生じないか懸念がある。管内の生産調整は、目

標数値に沿って実施されているのか。

- △ 国から生産目標が提示されない中、県では、農業関係者の方々の了解、合意の下に生産調整を行っている。
- 減反率については、ここ数年 40%程度で推移し、生産者は留保分に応じた産地交付金の支援を受けているが、管内で基準単収の設定数値は守られているのか。
- △ 本市では、土地改良区、J A、生産者など、各団体の代表者で構成する高岡農業再生協議会で、高岡管内の生産目標等を申し合わせており、各団体でも、それぞれ生産調整に取り組んでいただいている。国からは、一定の留保分に転作等の取り組み実績に応じた分を上乗せされた産地交付金を生産者に対して交付されている。本市においては、生産者の方に生産調整にご協力いただき、令和元年度の生産目標が達成されている。今後も J A等の関係機関と一丸となって生産目標が達成されるよう取り組みたい。
- 自主的な生産数量の調整により、生産者の方々が大変苦勞されると予想できる。本市としては、その数量の把握と関係者への周知を徹底してほしい。(要望)

〔都市創造部〕

・市街灯 L E D 化事業について

〈 委員から、次の質疑があった。 〉

【L E D への取り換えが済んだ市街灯について】

- 地元でも、市街灯を L E D に取り換えてあるものを見かけており、取り換えが済んでいることが一見して分かるものもあれば、分かりづらいものもある。L E D に取り換え済みの市街灯はどのように見分けるのか。また、いつまでに全ての市街灯を L E D 化できるのか。
- △ L E D 化事業については、令和 2 年 2 月中に工事を完了する予定である。また、市街灯に不具合があった場合の対応のため、現在、市街灯を識別できる「高岡市市街灯プレート」の設置を進めているところである。プレートが設置されているものは L E D への取り換えが済んでおり、確認の目印にもなると考えている。

2 その他

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【御旅屋セリオについて】

- 本市の 2 つの課が御旅屋セリオへ移転するとの報道があったが、その詳細は。
- △ 移転する 2 つの課については、百貨店退店後の中心市街地の賑わいづくりのため、また、現場に近い位置に在ることの効用を重視して、移転の判断をしたものである。今般、同じく移転する、末広開発㈱のまちづくり事業部、既に御旅屋セリオに入居している観光協会、令和 2 年 10 月にオープン予定の高岡地域地場産業センター等

の観光やまちづくりの関係機関によって、御旅屋セリオに中心市街地活性化の核を築いていくこととしている。市役所の機能が本庁舎の中で一極化する利便性と現場を肌で感じる事が出来るメリット等を総合的に考えたうえで、観光交流課と商業雇用課を移転させることとなった。

- 設置場所については、条例で定めなければならないと思うが、そうすると議会の議決が必要となるのではないかと。次の令和2年3月定例会において、議会に諮る予定か。また、移転の時期はいつか。
- △ 商業雇用課については、中心市街地に切れ目のない対応を図るため、令和2年2月中に移転を始め、3月から御旅屋セリオで業務を始める予定で進めたい。観光交流課については、5階のフロアに移転する予定としており、フロアの造作工事完了後、速やかに移転したい。所管部局からは条例の改正、議決は不要と聞いているが、詳細の説明は差し控えたい。
- 県消費生活センター高岡支所の移転の経費は、県が負担するとのことだが、令和元年12月に上程された補正予算議案において、御旅屋セリオへの公益施設の導入に向けた改修工事等に係る経費として1億5千万円が計上されているが、どれほどの不用額が生じるのか。
- △ 当該補正予算議案で可決された中心市街地活性化推進事業費1億5千万円は、まだ入札及び契約までに進んでいない案件もあることから、正確な数値は出ていないが、概ね半分以下になると見込んでいる。
- 過去に本丸会館に入居していた労働団体が、当会館の取り壊しの際、本市の紹介によって、現在の高岡地域地場産業センターに移転することとなった。当該センターの移転後、そのビルを取り壊すとのうわさも聞いており、労働団体に対し、退去依頼も出ているとのことだが、本市の対応は。
- △ 今後、商業雇用課が窓口となり、丁寧に対応に当たりたい。
- 労働団体を単に建物に入居している店子として扱うのではなく、本市が当該センターの移転の判断をしたということを念頭に進めていただきたい。（要望）

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1)企業の魅力発信セミナーの開催について
- (2)就職フェア in 高岡テクノドームの開催について
- (3)高岡企業見学バスツアーの開催についての開催について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【高岡企業見学バスツアーの参加企業について】

- 高岡を支えるすばらしい企業を、高校生や大学生が見学できる素晴らしい機会であるが、一方で、参加企業の中に脱税事件に関与した疑いのある企業も含まれている。どのように配慮しているのか。

- △ 高岡企業人材確保協議会の募集に対し、希望のあった企業が参加しており、ご指摘の部分については、市の範疇にないものと考えている。
- 事実は把握したうえで、今回のツアーが企画されていると捉えてよいか。
- △ 疑いがあるという事実は把握していた。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（３０名）

産業振興部長	川 尻 光 浩	都市創造部長	堀 英 人
産業振興部次長 参事	渡 辺 朋 洋	都市創造部次長	根 上 幹 雄
産業企画課長	新 保 貴 之	都市創造部参事（兼務）	渡 辺 朋 洋
商業雇用課長	表 野 勝 之	都市計画課長	久 郷 聡
観光交流課長	長 井 剛 志	花と緑の課長	有 栖 友 広
農業水産課長	須 田 稔 彦	道路整備課長	橘 茂 徳
農地林務課長	川 渕 利 直	土木維持課長	広 田 利 和
みなと振興課長	中 出 裕 嗣	建築政策課長	日 名 田 尚 明
		営繕課長	小 泉 和 浩
農業委員会事務局長	笹 島 永 吉		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
福岡総合行政センター所長	柴 田 文 夫	上下水道局次長	嘉 信 和 昭
福岡総合行政センター次長 地域振興課長	末 坂 進	上下水道局次長 参事	浜 谷 圭 一
産業建設課長	堂 田 康 弘	上下水道局参事	炭 谷 信 之
福岡まちづくり推進室長	池 田 政 弘	総務課長	五 十 里 康 夫
		営業課長	宮 田 修 司
		水道工務課長	寺 井 義 則
		下水道工務課長	熊 本 敬 二
		施設維持課長	島 信 治